

3月議会・一般質問



こんにちは、土屋ともりのりです。

土屋市議が一般質問

土屋市議があらゆる面で効果のある中学校給食の実現を求めたところ、「中学校給食は、食育推進や教育的効果が高く、市教委としては提供したいと考えている」「市と



教育は未来への投資

子ども達が健やかにいきいきと育つことは、誰もが願うことです。教育にこそ思い切った予算を使うよう求めました。

日本共産党 福山市議団

中学校給食 実現もとめる 答弁「提供したいと考えている」

土屋市議が市長にもとめる

育ち盛りの中学生へ給食を提供することは、教育的効果が高いだけでなく、様々な、良好な効果が得られます。3月議会でも、土屋ともりのり市議が取り上げました。

メリットが大きい中学校給食の実現

土屋ともりのり市議は、中学校で、給食を実現することは、

- ① 学力・体力の基本の「食」を充実させ、教育的効果が大きい。
- ② 「自校方式」の給食室の建設を市内企業へ発注すれば、中小業者へ仕事がまわり、雇用創出になる。
- ③ 仕事が増え、雇用者所得が増えるため、税収増がみこまれる。
- ④ 地産地消・食育推進につながる。

などの理由で、大きな貢献をすることを明らかにしました。

障がい者のくらし守れ! 1万1495筆の署名よせられる

重症心身障害者 福祉年金廃止 ストップを! (3月21日現在)

この制度は、身体、知的、精神などの障がいを抱える市民に、20歳未満の人は、年額2万2千円、20歳以上には年額1万3千円を支給します。市内で1万5千人以上が対象で、低所得者が多い障がい者を支える、かけがえのない制度です。



河村市議が追求

オール与党が廃止に賛成

関係者から寄せられたメール

「廃止しないでください。重度の障害を持った息子にとって1年1万3千円は大切な支援です」
(重度身体障害者の息子をもつ母より)

議会には多数の傍聴者もあり、各党派の議員からも質問や意見が出されました。しかし、日本共産党以外のオール与党が「福祉年金条例」の廃止を承認。制度の存続を求める「請願」は、不採択となりました。市民の願いに背く冷たい結果です。

一方、審議の際には、「障がい関係者の実態把握に努め、必要があれば対応すること」「真に年金が

障がい者は無駄な荷物じゃない

短期間で寄せられたねがい!!

民生福祉委員会には、傍聴席が不足するほどの市民が詰めかけました。河村ひろ子市議は、「障害をもつ息子が、麻痺のため足を引くので一日で靴が破れる。福祉年金は靴代として使っている」「この年金でわが子に新しい下着を買える」「低所得者が大半の障がい者の、数少ない年金をなくすのは冷たい」など、生の声をぶつけて、制度の存続を求めました。



3月議会での日本共産党の質問などを紹介します

福山市は「重症心身障害者福祉年金」を廃止する計画です。それに対し、市内の障がい者団体が「障がい者の暮らしを守れ」「年金制度をなくすな」と立ち上がり、短期間で1万1千人を超える署名を提出しました。民生福祉委員会で、同制度の廃止条例と、「存続を求める請願」が審議されましたが、日本共産党以外のオール与党が、否決するという冷たい結果でした。河村ひろ子市議が論戦しました。

議案への賛否

会派名	条例廃止	請願採択
水曜会	● (賛成)	× (反対)
誠友会	● (賛成)	× (反対)
公明党	● (賛成)	× (反対)
市民連合	● (賛成)	× (反対)
新政クラブ	● (賛成)	× (反対)
無所属 (1人会派)	● (賛成)	× (反対)
日本共産党	× (反対)	● (賛成)

市長「廃止し相談や生活支援へ転換する」と冷たい答弁

河村ひろ子 連絡先 メール kawamura@f-jcp.com ☎: 084-965-6049 FAX: 084-962-1928 プログラムをご覧ください ひろ子ワールド 検索

ここまで必要?? 生徒指導規程

福山市は、小中一貫教育を進めようとしており、小・中学校の先生が行き来して、公開研究会や研修を繰り返しています。そのため、様々な会議や書類作りが膨大に増え、先生の多忙化に拍車がかかっています。また、学校選択制を導入しています。その理由を「選ばれる学校づくりを進める」と説明しています。「選ばれる」学校があるということは、「選ばれない」学校を生みだします。義務教育に格差をもちこむことは許されません。

小中一貫教育と、学校選択制を見直し、正規教員を増やすよう求めました。

小・中学校では、子ども達をがんじがらめに管理する指導が行われています。その根拠となる「規程」が「生徒指導規程」です。「体調がすぐれない場合、保健室利用は1時間」「問題行動の場合、別室指導をし、漢字800字(200字×4ページ)」「マフラー・手袋は学校より指示のあったときより使用許可」など、細かく決められています。「行きすぎだ」との声もあり、ここまでの管理が必要でしょうか?

35人学級の実現を

子どもたちに豊かな教育を

安倍政権は、新年度、35人学級の実現のための予算措置をしていますが、本会議では、これまで、市長の公約としていた35人学級の実現は「国の動向を見守る」として、市独自の実現を見送っています。

国が実現に踏み出さない以上、市として実施することが必要です。

「実現には5億円」
— 本会議答弁 —

市独自で全小・中学校を、35人学級にした場合、年間15億円の人員費と、施設整備費が必要」とのことでした。予算議会では、一学年あたりの経費をそれぞれ、小・中学校ごとに質問しました。

全小中学校では3億円1学年7千5百万円
市は、小学校で35人学級を実現する場合、3億円(1学年7500万円)、中学校では2億円と答えました。市は、毎年20億円以上の赤字を生んでいます。財政力から考えれば、不可能ではありません。35人学級の早期実現を求めました。



高木市議が追及

国保税の値上げストップを！ 基金つかい引き下げを

福山市は、国民健康保険税を引き上げる計画です。一人平均で、2278円もの値上げです。長引く不況の中、負担増は限界です。高木たけし市議が取り上げました。

2人いる場合、所得200万円なら、国保税の支払いは約40万円で、2割を占めます。
1億円余れば値上げ不要
ためこみ貯金は10億7600万円！
市民に値上げを押しつける一方で、国保会計の2013年度末のため込み貯金（財政調整基金）は、10億7600万円にもなることが明らかになりました。そのうち、1億7800万円あれば値上げはストップできます。
このお金を使い、これ以上負担を増やすな、と迫りました。

不要不急の大型事業 福山道路建設やめよ！

福山道路は、市内を16・5km縦断し、総事業費1700億円かかる大型公共事業です。この計画に対して、2006年2月の瀬戸町での事業説明会では、深夜まで住民から、質問や反対意見が噴出していったにもかかわらず、国土交通省が一方的に説明会を打ち切りました。それ以降、取

り付け道路などを協議する、設計協議中に土地を買収するなど、なほ崩壊的に事業を進めてきました。
今年、2月2日、詳細設計について、多くの地権者が、疑問や、改善要望を出しているにもかかわらず、国交省は、一方的に、設計協議の説明会を打ち切りました。
地元住民らは、その事態を了承せず、

説明を尽くすよう、強く抗議しました。国交省の度重なる暴挙に、住民の怒りが強まっています。
事業を強行しないよう強く求めました。

3月議会・代表質問

市長答弁：大型開発に固執

市長は「『今後は、住民に理解と協力を求める中で推進していく』と、国から聞いている」と、まるで、他人事のような答弁でした。国は、1000兆円近い、借金を抱えており、これ以上の大型事業が必要でしょうか。

(国交省パンフより)

福祉・医療切り捨て計画

市民いじめ計画やめよ 村井市議が迫る

4月から始まる負担増・廃止計画

- 加茂診療所廃止
- 長寿祝金廃止
- 70歳以上ガン検診有料化
- 動物園入園料値上げ

3月予算議会でも村井あけみ市議は、羽田市長が提案している福祉けずり計画を批判。大型開発をやめ、くらし・福祉重視の予算に切り替えるよう求めました。

加茂診療所のこじって

福山市民病院付属加茂診療所の廃止の計画が、12月議会に、突然提案されました。町内会への説明会が遅れたことから、提案が遅くなった、とのことでした。
しかし、地域住民の多くは、加茂診療所の廃止について、詳細な説明を聞いていません。地域住民に十分な説明も意見聴取もなく、突然廃止するのは問題です。*地域住民からの「何とか残してほしい」の声にこたえ、廃止撤回を求めました。*3月議会には「加茂診療所を残して」という78筆の請願署名が提出されました。

長寿祝金

長生きを祝う長寿祝金制度。これまで88歳・99歳・100歳の節目、101歳以上になると、2万円をお祝い金として出していました。ところが、「認知症やひとり暮らしの支援強化のため」などの理由で、今後、100歳になった時しか支給しない方針です。計画を知った高齢者団体から、「戦中・戦後を生き抜いた高齢者に冷たい」と存続を求める請願署名が出されました。お年寄りにあたたかい市政を求めました。



加茂診療所の様子

70歳以上ガン検診無料化の継続を

死亡率の上位を占めるガン。早期発見・早期治療のためには、検診が欠かせません。ところが、これまで無料だった70歳以上の人の受診費を有料にしました。広島県はガン検診受診率日本一を目指すというのに…無料化の継続を求めました。

動物園入園料 人気便乗 値上げは許せない

昨年3月に、年間入園者が35万人を突破し、過去最高記録をつくった福山動物園。県内外からも多くのお客を呼び込み大人気です。ライオン園舎なども充実します。ますます発展が期待されます。この時期の値上げが必要なのか疑問です。「人気便乗値上げをするな」ときびしく批判しました。



村井市議が予算議会で討論

300円
500円

動物園入園料 人気便乗 値上げは許せない

市長「一定の負担は必要」と冷たい答弁

医療をうける権利をうばう 資格証明書発行やめよ!!
国保税が高すぎて、払えない、などの理由で、国民健康保険証を取り上げられ、病院の窓口で10割負担を迫られる人（資格証明書）は1064世帯になっています。保険証がなければ、医療にかかれませんが、資格証明書の発行をやめるよう要求しました。

多発中 水路転落 防止対策いそげ!

大型道路より生活道路改善を

市内では、水路や側溝に人が転落し、死亡や大けがをする事故が多発しています。2003年度以来、市内の整備区域7310haのうち71%は調査が終わりましたが、ガードパイプの設置など、整備はこれからです。とりわけ手城町や神辺町、新市町など、合併町での対策を急ぎ、整備予算を抜本的に増やすよう求めました。

10年間で5億円 バツサリ

予算額が減少、廃止した福祉施策について

事業名	区分	見直し年度	削減額
老人医療費助成（一部県費あり）	廃止	2004	56,074
福祉タクシー助成費	対象者見直し	2006	27,322
長寿祝金	対象者見直し	2009	45,800
老人交通費助成	対象者見直し	2009	14,445
介護サービス利用者食費負担軽減事業費	廃止	2009	18,500
福山市遺児年金	廃止	2010	148,835
あんま等施術費助成事業	対象者見直し	2012	12,000
入院療養支援費（重度心身障がい者）	廃止	2012	28,000
入院療養支援費（乳幼児等医療）	廃止	2012	550
入院療養支援費（ひとり親家庭等医療）	廃止	2012	130
福山市重症心身障害者福祉年金	廃止	2013	103,270
長寿祝金	対象者見直し	2013	44,300
合計			4億9926万6千円

*2013年（平成25年）3月議会提案分を含む。

予算議会では、福山市独自の福祉施策を10年間で、約5億円削減することが明らかになりました。なんと冷たい市政でしょう。

日本共産党福山市議団
生活相談は ☎ 922-2815 (不在時は留守電へ)

村井あけみ
ブログ <http://wredpowerppp.blog.fc2.com/>

高木たけし
ブログ <http://takeshi821.blog.fc2.com/>

土屋ともり
ブログ <http://tsuchiya922.blog.fc2.com/>

河村ひろ子
ブログ <http://hiroko0827.blog.fc2.com/>